

平成 25 年度

財団法人いわき市教育文化事業団予算書
(抜粋)

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

財団法人いわき市教育文化事業団

目 次

	ページ
・ 事 業 計 画 書 -----	1
・ 収 支 予 算 書 -----	11

事業計画書

平成25年度 財団法人いわき市教育文化事業団事業計画

平成25年度は、財団設立35周年を迎えるとともに、財団法人から公益財団法人へ移行する節目の年であり、次期を見据えた管理と運営が求められる年でもあります。健全経営に向け、役職員一丸となった取り組みを進めてまいります。

文化財部門では、市内の一般開発に伴う調査事業のほか、震災復興関係の区画整理事業や高台移転事業等が計画されており、復興事業はじめ事業の進捗に遅滞のないよう関係機関と連携を密にしながら実施してまいります。

施設部門では、平成21年度にいわき市から指定管理者の指定を受けた、いわき市アンモナイトセンター、いわき市考古資料館、いわき市立草野心平記念文学館、いわき市草野心平生家、いわき市暮らしの伝承郷、いわき市生涯学習プラザ及び平成23年度に福島県から指定管理者の指定を受けた、福島県いわき海浜自然の家等7施設の指定管理期間の最終年度にあたります。この間の実績に評価を加えるとともに、震災及び原発事故発生後の市民ニーズ等も踏まえた新たな施設の管理運営指標を策定する等、7施設すべて次期の指定を目指してまいります。各施設ともに原発事故とその風評被害により激減した入館者数が震災前の状況に戻りつつありますが、ホームページ内容と広報の一層の充実に努め、減少した入館者の呼び戻しとさらなる増を図ってまいります。

このほか、出版事業では重要遺跡の調査報告書及び既刊調査報告書の頒布、普及活用事業では公民館等への有償出前講座を開催し収益増を図ってまいります。啓発広報事業では、学校や公民館などでの文化財の啓発にかかる展示会や遺跡の説明会及び出前講座等を開催を通して、事業団の専門性を市民の皆様にアピールしてまいります。また、市内外の関係施設や地域との連携をさらに深めてまいります。

1 文化財部門

(1) 基本方針

本年度事業は、東日本大震災からの復興事業、久之浜バイパス事業、市道改良事業、泉第三土地区画整理事業に関連する事業が予定されています。事業件数は17事業、事業規模は、235,994千円、事業の内訳は、継続事業12件、新規事業5件です。

これらの事業を実施するに当たっては、本発掘調査における安全な作業環境の確保と事故防止に努めます。

(2) 事業計画

ア 試掘調査事業 2件(継続1件、新規1件)

試掘調査は、本調査の是非や本調査の費用積算のために調査するものです。一般開発行為が発生した場合に、市の指示で試掘調査を行う市内試掘調査1件と震災復興事業関係の試掘調査1件を予定しています。

イ 本調査事業 6件(継続3件、新規3件)

継続事業は、久之浜バイパス遺跡発掘調査の前上ノ山遺跡、泉第三土地区画整理事業の御前田B遺跡、泉町A遺跡。

新規事業は、震災復興区画整理事業発掘調査、震災復興高台移転事業発掘調査、専称寺発掘調査を予定しています。

ウ 整理・報告書作成事業 9件(継続8件、新規1件)

継続事業は、前年度の本発掘調査から継続のもので、野木前・後山線埋蔵文化財発掘調査の湯長谷館跡・磐崎中学校遺跡、水品・長友線埋蔵文化財発掘調査の水品遺跡、餓鬼堂地区埋蔵文化財発掘調査の餓鬼堂横穴群、泉第三土地区画事業の泉町C遺跡、久之浜バイパス遺跡発掘調査の静遺跡、平地区埋蔵文化財発掘調査の南作横穴群、寺前地区埋蔵文化財発掘調査の烏内横穴群を予定しています。

新規事業は、矢祭町上関上ノ台遺跡の遺物整理を予定しています。

エ 遺跡説明会等の開催

本調査事業等を予定する遺跡の発掘調査の成果を市民に公開いたします。

2 施設部門

(1) 基本方針

いわき市アンモナイトセンター、いわき市考古資料館、いわき市立草野心平記念文学館、いわき市暮らしの伝承郷、いわき市草野心平生家、いわき市生涯学習プラザ、福島県いわき海浜自然の家7施設の指定管理者として、施設の管理運営に権限と責任を持ち、設置目的、機能及び公共施設の持つ意義についてさらに理解を深め、公平かつ平等なサービスの提供に努めてまいります。

特に平成25年度は、7施設ともに指定管理期間の最終年度であることから、次期指定を目指した取り組みを行ってまいります。

(2) 事業計画

ア いわき市アンモナイトセンター

一般体験発掘事業は、個人や家族を対象とした体験発掘を毎週土曜日・日曜日（第3日曜日を除く）及び5月の連休や8月のお盆休みの実施に向けて取り組んでいきます。

特別体験発掘事業は、学校などの団体を対象とした発掘を一般体験発掘日・第3日曜日及び休館日以外の平日・祝日に実施します（一般・特別体験発掘ともに、各回の定員は50名程度）。

親子発掘教室は、毎月第3日曜日を開催日とし、親子を対象として化石発掘教室を開催します。家族の絆を深めながら、一般体験発掘には参加できない幼児も対象に、やさしい化石発掘の方法や楽しさを学びます。

企画展は、小・中学校の夏休みにあわせ「こんな化石が見つかる」（仮）を、冬休みには「化石を見て体験しよう」（仮）をそれぞれテーマとして開催し、化石への理解を深め、親しみがわくよう企画展示・解説します。

公開シンポジウム（化石講演会）は、9月に久之浜中学校を会場にして、全国に誇れる化石産出地のすばらしさを地元の小・中学生はじめ一般市民に広く理解を広めることを目的に開催します。

イ いわき市考古資料館

企画展及びミニ企画展は、第1回企画展「いわきの貝塚」、第2回企画展「平成24年度発掘速報展」、第3回企画展「写真で綴るいわきの指定文化財 - 考古資料、史跡、史跡・名勝、天然記念物 - 」、ミニ企画展「干支 - 午 - 」の4回と、福島県文化財センター白河館の移動展「指定文化財展 - ふくしまの重要文化財 - 」の計5回開催します。各企画展ともにより理解を深めていただくため、講演会、展示解説会、見学会、遺跡報告会等をあわせて開催します。

講座は、夏休みの子どもたちを対象とした「自由研究に挑戦しよう！！」、質の高いボランティアを養成するための「ボランティア養成講座」、第3回企画展に合わせ現地を見学する「指定文化財見学会」を開催します。

体験学習会は、「GW体験学習会」・「夏休み体験学習会」・「古代まつり」のほか、「勾玉づくり体験会」を夏・冬休みに合わせて計15回開催します。また、震災後、滋賀県の文化団体の支援をいただき開催してきた「滋賀キッズミュージアム」を、今年度はいわきが主体なり開催することを計画しています。

学校等からの要請により先方へ出向いて開催する出前講座及び歴史に関する問合せや資料の貸出等についても、積極的に対応してまいります。

平成24年度に引き続き緊急雇用創出事業「石炭化石館にある収蔵化石資料の整理登録業務」を行います。

ウ いわき市立草野心平記念文学館及びいわき市草野心平生家

平成25年度は、草野心平生誕110年、文学館開館15周年、生家開館10周年を迎えます。

文学館では、春、夏、秋の計3回の企画展を開催します。春の企画展「草野心平の詩恋愛編」では、草野心平（1903～1988）の1,400篇余の詩から、恋愛にちなんだ作品に焦点を当てます。蛙を主題にした恋愛模様、心平の恋の独白ともされる詩など詩人に秘められた一面を紹介します。夏の企画展「みんなだいすきアンパンマンやなせたかしの世界展」では、絵本「アンパンマン」により広く親しまれているやなせたかし（1919～・高知県生まれ）の多彩な魅力を、絵本作品をはじめ、雑誌等の原画、水彩画により紹介します。秋の企画展「カエル・コレクション展（仮称）」では、米国出身の日本学者エドワード・ジョージ・サイデンステッカー（1921～2007）が蒐集した「カエル」の根付や置物を展示します。さらに、蛙の詩人と呼ばれた草野心平との共通点、『源氏物語』や川端康成作品などの日本文学が彼の翻訳により世界で紹介された経緯を紹介します。

また、スポット展示として、「吉野せい」「草野天平」、平成24年度寄贈資料を展示予定の「猪狩満直」ほか、計6回を開催します。催しは、「文学散歩」「詩作講座」「サマーナイトの催し」「絵本の読み聞かせ」、ボランティアとの連携事業「居酒屋 火の車食体験」などを継続します。

平成24年度に引き続き緊急雇用創出事業「文学資料データベース作成事業」を行います。

生家では、心平誕生日の市民朗読会、ワークショップ、心平忌・心平を語る会、草野天平の集いなどを行います。

エ いわき市暮らしの伝承郷

古民家等の清掃から庭木の剪定、田畑耕作、里山づくりなど、古民家を中心とした園内の整備・管理を業務の中心に据え、景観や昔の暮らしそのものの復元と伝承をめざし、また、花木を育成するなど、来館者に親しみの持てる空間の提供に努めます。

企画展は、7～9月に「写真で見るいわきの昔野菜展」、11月に「県立美術館移動展」、12～1月に「塩谷美江作品展」、2月～3月は、「伝承郷収蔵品展」を開催します。

講座は、民俗学講座を5回開催し、体験事業は、技術の伝承や伝統に親しむための体験学習を、四季折々の特色や年中行事の要素も織り交ぜながら開催します。このうち「キッズ民話語りの会」は、20回目の記念大会とし、受講生のほかにOBの参加を募ります。そのほか、現代社会では見られなくなっ

た年中行事を再現する「節句飾り」や、「盆棚飾り」、「正月飾り」などの伝承郷行事も、これまで以上に内容や規模の拡充を図ります。なお、市民への広報については、ホームページの質的な充実や各メディアへの情報提供の工夫と拡充を行い、事業等の周知を図ります。また、アンケートや事業懇談会を活用して自己評価を行いつつ、適正な市民へのサービス提供に努めてまいります。

平成24年度に引き続き緊急雇用創出事業「暮らしの伝承郷農村風景復元伝承事業」を行います。

オ いわき市生涯学習プラザ

平成25年度は指定管理期間の最終年度となる年です。また、第5期生涯学習推進計画が新たにスタートする年でもあります。生涯学習の拠点施設であるプラザでは、今後の指針として示された推進計画に基づき、震災後に大きく多様化した市民ニーズに、これまで以上に応えてまいりたいと考えます。

事業面においては、約25の主催講座の他に、サークルが運営実施する「サークル企画講座」、IT関連や子育て支援ボランティアが運営実施する「ボランティア活用講座」は定着がみられ好評を博していることから、引き続きサークル・ボランティアとの連携を図りながら定期的に講座を展開してまいります。また、市民の関心が高く毎回抽選となる「パソコン実用講座」も開催回数を増やすなどの措置を講じて、市民の高いニーズに応えてまいります。

共催事業においては、(社)茶道裏千家淡交会いわき支部との「ふだん着のお茶会」、いわき華道連合会との「諸流いけばな展」を開催します。また、事業団職員や市内研究者の協力を得て「いわき再発見講座」を開催します。

さらに、いわきヒューマンカレッジ(市民大学)や生涯学習フェスティバルなど全市的事業を通して、更なる生涯学習の推進に努めてまいります。

カ 福島県いわき海浜自然の家

福島県いわき海浜自然の家は、心身ともに健全な青少年の育成と生涯学習の振興のため、いこいの広場とトリムランドでの野外活動のほか、海浜活動を一部再開し、安心して活動できる環境整備に努めながら利用者の自主・自立的な活動を支援してまいります。

利用者の事故防止や安全管理はもとより、多様なニーズや目的に応じた事業の充実を図り、効率的で柔軟な管理運営を行ってまいります。とくに、公民館をはじめ、他の教育文化施設との連携、ボランティアの養成等に努め、利用者の拡大と満足度の向上を図ってまいります。

春と秋の、年2回のオープナーや、森の音楽会などの利用促進事業、夏に

は、ふれあい夏キャンプ、秋には、わくわく秋体験などの啓発事業、冬には、会津自然の家との協力事業として、福島の冬！ウインターフェスティバルなどを開催してまいります。

職員の知識と技能、待遇の向上を図り、「心配り」「気配り」のある健全な施設の管理運営と、県教育庁と密接に連携を図りながら、県民に親しまれる施設づくりに努めてまいります。

3 出版事業

(1) 基本方針

重要遺跡の調査報告書の増刷を行うとともに、既刊の調査報告書などの出版図書については、ホームページでの案内及び学会や研究会などへ出向く等、一層販売の促進にあたってまいります。

(2) 事業計画

文化財部門では、「湯長谷館跡」、「水品遺跡」、「餓鬼堂横穴群」、「静遺跡」、「南作横穴群」、「烏内横穴群」等の重要遺跡の調査報告書及び既刊調査報告書の頒布をします。

4 普及活用事業

(1) 基本方針

当財団の職員が有する専門的な知識を公民館等へ有償提供し、事業団の専門性を市民の方々にアピールするとともに、収益を図ってまいります。

(2) 事業計画

事務局においては、「いわきの歴史」や「地域の歴史」等の講座及び勾玉づくりや埴輪づくりなどの各種体験、各施設においては、それぞれの施設の独自性や専門性を踏まえたメニューを作成し、積極的に事業を展開してまいります。

5 研 修

(1) 基本方針

利用者への「安全・安心の確保と提供」、「満足いただけるサービスの提供」、「質の高い専門性の提供」などの一層の向上を図るため、自主研修制度を積極的に活用し、関係資格の取得や研修への参加を推進してまいります。

(2) 事業計画

「安全・安心の確保と提供」のため、安全講習会へ積極的に参加するとともに、安全資格等の取得に努めてまいります。「満足いただけるサービスの提供」のため、各種研修を開催するとともに参加し関係資格を取得する等、接遇の向上に努めてまいります。「質の高い専門性の提供」のため、学会・セミナー・シンポジウム等へ参加を推進し、職員個々の専門性を高めてまいります。

6 啓発広報事業

(1) 基本方針

地域に出向いての企画展などの開催や多くの情報の提供を通して、文化財保護思想及び事業団と各施設の専門性を市民の皆様に啓発広報してまいります。

(2) 事業計画

文化財部門においては、発掘調査で得られた成果について、現地での説明会及びいわき市考古資料館での「発掘速報展」や「遺跡報告会」で発表してまいります。施設部門においては、それぞれの施設の特徴や独自性を多くの市民の皆様に知っていただくため、学校や公民館等での移動展示会の開催やホームページ内容の充実を図ってまいります。また、平成23年度にいわき市教育委員会が小学校6年生の社会の副読本として発行した「みんなで学ぼう いわきの歴史」を増刷し、普及活用事業や各施設で開催する講座などのテキストとして活用してまいります。

7 職員に関する事項

平成25年1月1日現在

(1) 事務局

(括弧内数字：兼務職員数、単位：名)

区 分	事務局長	事務局次長 専門研究員	係 長 主任研究員	副主任研究員	事務主任 研 究 員	主 事 研究員	嘱託職員	日々雇 用職員	計
事 務 局	1	2	-	-	-	-	-	-	3
企画管理係	-	-	1	-	1	-	1	5	8
調査第一係	-	1	1	-	1	-	5	-	8
調査第二係	-	-	2	-	-	-	-	13	15
計	1	3	4	-	2	-	6	18	34

(2) 施 設

(括弧内数字：兼務職員数、単位：名)

区 分	館 長 所 長 副館長	次 長 主任主査 専門学芸員 専門指導員	係 長 主任学芸員 主任指導員	主 査 副主任学芸員 副主任指導員	事務主任 学 芸 員 指 導 員	主 事 学芸員 指導員	嘱託職員	日々雇 用職員	計
アンモナイト センター	(1)	1	-	-	-	-	1	2	4(1)
考古資料館	(1)	-	(3)	-	-	-	(1)	-	(5)
文 学 館	2	-	-	2	-	-	-	6	10
伝 承 郷	1	1	-	1	-	-	1	8	12
生涯学習 プラザ	1	-	1	1	-	1	1	8	12
いわき海浜 自然の家	1	2	-	-	-	2	4	7	16
計	5(2)	4	1(3)	4	-	3	7(1)	31	55(6)
合 計	6(2)	7	5(3)	4	2	3	13(1)	49	89(6)

収 支 予 算 書

平成25年度財団法人いわき市教育文化事業団収支予算について

平成25年度 財団法人いわき市教育文化事業団収支予算
(総 括 表)

(単位千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減
< 事業活動収支の部 >			
事業活動収入			
1 基本財産運用収入	32	40	8
2 事業収入	628,901	699,151	70,250
3 寄付金収入	1	1	0
4 雑収入	845	3,040	2,195
事業活動収入計(ア)	629,779	702,232	72,453
事業活動支出			
1 事業費支出	601,331	665,068	63,737
2 管理費支出	32,093	30,004	2,089
事業活動支出計(イ)	633,424	695,072	61,648
事業活動収支差額(ア-イ=ウ)	3,645	7,160	10,805
< 投資活動収支の部 >			
投資活動収入			
投資活動収入計(エ)	0	0	0
投資活動支出			
1 固定資産取得支出	630	500	130
投資活動支出計(オ)	630	500	130
投資活動収支差額(エ-オ=カ)	630	500	130
< 財務活動収支の部 >			
財務活動収入			
財務活動収入計(キ)	0	0	0
財務活動支出			
財務活動支出計(ク)	0	0	0
財務活動収支差額(キ-ク=ケ)	0	0	0
< 予備費の部 >			
予備費			
1 予備費 (コ)	3,000	3,000	0
当期収支差額(ウ+カ+ケ-コ=サ)	7,275	3,660	10,935
前期繰越収支差額(シ)	85,452	81,792	3,660
次期繰越収支差額(サ+シ=ス)	78,177	85,452	7,275